



ゴロスケ報々



●第29回定期総会のお知らせ●

事務局からのお知らせ

昨年は開園30周年事業に協力し、トークショーも盛況でした。2018年度の友の会創立30周年に向けて、2017年度も活動を発展させていきます。会員の皆様のご参加・ご協力・ご提案をお待ちしています。

- 日時 2017年4月2日(日) 10:00～
 場所 自然観察センター研修室
 議案
- ・2016年度事業報告・決算報告
 - ・2017年度事業計画・予算
 - ・理事監事の選任
 - ・その他

◆終了後、「森の説明会」(隔月で開催している「森を守るボランティア体験(通称「森ボラ」)」のオリエンテーション部分=観察の森の役割、友の会の活動案内、園内のルールなど。30分程度)を希望者向けに開催します。森ボラに未だ参加していない会員の方は、この機会に是非ご利用ください。(当日受付時に事務局までお声かけください。)

★★★ 開園30周年トークショーの映像を上映します! ★★★

昨年参加できなかった方は必見! お見逃しなく!

- 日時: 4月2日(日) 第1部 総会終了後～10:50
 (「季節の森を歩こう」の受付時間には中断します。)
 第2部 (続き) 12:10～12:50頃(昼食持込可)

場所: 研修室

※希望があった場合は「森の説明会」を優先します。ご了承ください。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●1月定例会報告●

日時 2017年1月15日(日) 13:00~15:00

出席者 青木、高橋(む)、大浦、落合、片岡、佐々木、鈴木、関根、中里、西山、村松、山口、吉田、渡部、古南R、掛下R

議題

1. 行事報告

11月下旬から1月上旬の行事報告、活動報告をおこないました。

12月の「森を守るボランティア体験」(「雑木林ファンクラブ」担当)の参加者5名。

望年会の報告をしました。臼、杵の老朽化に伴い、購入も含めた検討を行います。

2. 行事予定

2月中旬から4月上旬までの行事予定の確認をおこないました。

3. 各プロジェクトの活動報告と活動予定の確認をおこないました。

4. ごろすけ館の利用希望の調整をおこないました。

5. 事務局より

- ・各PJ等の来年度計画案を確認しました。
- ・来年度の「森を守るボランティア体験」の担当PJの検討を行いました。
- ・カレンダーの値下げ

6. センターより

「観察センターだより」のページをご覧ください。

次回定例会は
3月19日(日)13:00~
観察センター研修室
※定例会は会員の方どなたでも
参加できます。

●1月理事会報告●

日時 2017年1月15日(日) 9:30~12:25

出席者 青木、漆原、大浦、落合、片岡、志釜、関根、中里、村松、山口(議長)、吉田、古南R、掛下R(欠席:秋元、中塚)

議題

1 次年度事業計画

- ・次期・長期目標(2020~2029)の策定準備と友の会創立30周年(2018年度)の準備として、コンサルティング(課題整理と方策検討)、一般向けイベント(たたら製鉄ほか)、絵葉書(他のグッズも含む)について検討、次回も引き続き検討します。

2 定期総会準備

- ・理事監事再任・変更について確認しました。

3 利用推進会議

- ・2月11日(土・祝)13時~(15時~保安全管理懇談会)の予定・議題を確認しました。

4 安全管理

- ・次年度講習会テーマ「有毒植物」を決定、次回詳細検討。

5 その他

- ・カレンダー残11部の扱い、1~3月振込の新規会員の保険(原則次年度分へ充当、希望者には現年度分も付保)について確認しました。

<次回理事会予定>

日時 3月19日(日)
9:30~12:00
場所 自然観察センター研修室
議題 1 定期総会準備
2 安全管理
3 その他

春、いろいろないきものたちが動きだします。いきものたちとの出会いを親子でいっしょに楽しみましょう。ほんもののおたまじゃくし・ほんもののスミシにふれ、ほんもの自然にかこまれて、子どもたちが感じたことに耳をかたむけてみませんか。

日時：2017年3月26日（日）小雨決行（大雨の場合は、翌週4月1日（土））

午前の部：10：30～12：00、午後の部：13：30～15：00

（2回とも同じコースです）

場所：横浜自然観察の森

対象：3才～小学校2年生と保護者 40名（午前・午後20名ずつ、希望者多数の場合は抽選）

申込：3月4日までに、下記の FAX かメールで「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当宛に、参加者のお名前、人数、お子さんの年齢、午前か午後か、連絡先の電話番号・あれば FAX 番号とメールアドレス、をお知らせ下さい。申込多数の場合は抽選になり、12日までにご連絡いたします。

FAX：045-894-8892

メール：kansatsunomori@gmail.com

問合せ：上記 FAX またはメールアドレスへ。

主催：横浜自然観察の森友の会事務局「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当

森のこぼれ話 ふむふむ

アリの列（れつ）は、渋滞（じゅうたい）しない!?



日本 PTA 関東ブロック大会（茨城大会）の講演（東京大学先端科学技術センター 西成活裕教授）から。先生は数ヶ月インドでアリの隊列を観察して渋滞しないことを確認したそうです。渋滞学（例：20 台中 1 台が車間を 2 秒空けて緩衝車になると渋滞が解消し、全体として皆が早く目的地に到着する）は TV などでも紹介され有名。他にもいろんな研究事例（例：バケツリレーではバケツに水を入れすぎると速度が遅くなるので一番早く水が運べるのは何割入れたときか？とか、全員が早く避難できる非常口の位置は？とか、4 点間を互いに結ぶ最短ルートは？とか、会社がつぶれない適正な仕事量は？とか）が紹介され面白かったのですが、図がないと説明しにくいので省略。世の中、何がムダで何が最適なのか、わからなくなってしまうました。

国際ムダどり学会では、「目的・期間・立場の 3 つを揃えないと、ムダか否かの議論はできない」と定義されているそうです。「世の中、ムダばかり」と言う人と、「ムダなものなど一つもない」と言う人とは、期間設定が異なることが多らしいです。最適な結果を生むための過程で考えられたムダは、ムダとは言わず、「科学的ゆとり」と言うそうです。アリは、渋滞しないよう進化した（渋滞しないアリが生き残った）のでしょうか。人間も、われ先にと焦って渋滞を引き起こしている場合ではないですね（今はまだ、間に割り込まれてしまいますけど）。

さて、園内のアリは、本当に渋滞しないアリでしょうか。アリの列をみつけたら、よく観察してみましようね。アリの他にも、「科学的ゆとり」を体得している生き物はたくさんいますね。自然に学ぶことは、本当にいろいろありそうです。もしかしたら、人類の進歩に貢献する、重要な発見が、すぐそこにあるかもしれませんよ。友の会の活動も、息の長い視点で、「科学的ゆとり」を大切にしていきたいものです。

（やまひょん）

事務局からのお知らせ

●友の会の理事、事務局お手伝い(特に、「秋まつり」など交流行事のお手伝い)を募集しています!●

●4月の総会に向けて、次年度から理事に加わっていただける会員を募集します。

●定例会や交流行事準備など事務局をお手伝いしてくれるボランティアを募集しています。

<新入会員・初心者歓迎!>

皆が楽しく集える行事のお手伝いなどから気軽に活動を始めてみませんか?

これまでに学生等でも理事として活躍した例があります。無理のない範囲の参加でOK、どなたでも大丈夫です。

理事の会員公募枠(3名以内)は幅広く推薦・立候補を募集しています。

<学習機会やボランティア事始めなどとしても最適!>

何かと役立つグループ運営の実践や自主研修、ボランティア活動のきっかけとして、フィールドの魅力にも支えられながら気軽に参加・体験いただけます。

理事は会員公募枠の他に、事務局枠(5名)、PJ枠(各PJ1名以内、標準5~8名)もあります。詳しくは事務局メンバーや各PJへもご相談ください。

<緊急募集!>

◎ネットワーク担当補助

いるか丘陵や小網代などでのネットワークイベントへの参加を担当します。イベントはメーリングリスト等での募集に応じて会員が参加しています。多くの会員の参加でネットワークの輪を広げましょう!

◎会計担当補助

支出(清算)は原則として2ヶ月に1回の会議のときとするなど、担当者に合わせたペースでOK。入金(振込)管理については会員名簿管理担当や事務局メンバーと相談しながらできて安心です。

◎事務局ボランティア(事務局員)

主要な事務(会計・会員管理・編集・定例会・書記・渉外(ネットワーク)など)は担当理事制で役割分担しているため、行事・会議のお手伝いが中心となります。まずは定例会への参加や恒例の交流行事の準備などから始めてみてはいかがでしょうか。

<皆様の参加をお待ちしています!>

詳しい役割分担については4月総会后最初の理事会で調整・決定します。

多くの方に少しずつご協力いただけると、1人1人の役目がわかりやすくなって実行しやすくなります。

理事・担当の希望者は3月理事会(3月19日)の前までに今年度理事又は事務局へご連絡ください。

1月8日(日)
参加者 1回目3名、2回目2名
スタッフ3名

「季節の森を歩こう」は毎月第1日曜日の11時と13時に開催しています。季節ごとに違った顔を見せてくれる森の生き物達から、自然の面白さ・不思議さを感じるガイドウォークを行っています。

1月の活動日は午後からの雨予報もあり、少し寂しい参加人数。その分、いつもよりも参加者の声に耳を傾けてのガイドウォークとなりました。

カマキリが大好きだという男の子がいたので、オオカマキリ・ハラビロカマキリ・ヒナカマキリのカマキリ卵鞘3種を観察。同じカマキリの仲間でも、種の違いによって生活の場が違うことを感じてもらいました。

ガイドウォーク終了後「また遊びにきます!」と笑顔をみせてくれたのがワタシ達への大きなご褒美となりました。

さて、これを執筆している1月下旬現在、ハイケの湿地が騒がしくなり初めています。皆さんがこれを読まれる頃には、新しい生命がたくさん誕生していることでしょう。

●森を守るボランティア体験(12月) 報告●

12月18日(日) 参加者3人 スタッフ5人
担当: 雑木林ファンクラブ
体験テーマ: 木の伐倒

はじめ、研修部屋で自然観察の森と友の会の内容を説明しました。参加者の一人はすでに友の会に参加し、ZFCで活動中の人でした。また他の一人は近くに住む人で、森のことをわかっている人でした。

センターのまえの林に移動して、ZFC会員の指導で、スダジイを伐倒しました。

中区から参加の人は、伐倒が初めてとのことで、楽しんでおりました。

センターに帰り、友の会の入会について説明しました。近くに住んでいる人は4月に入会したいとのことでした。
雑木林ファンクラブ

友の会活動報告

●望年会 報告●

昨年末、12月23日(祝)に友の会の「望年会」が35名の参加者を得て開催されました。

当日は朝夕冷え込みましたが日中は晴天に恵まれ、気持ち良いイベント日和でした。

今回はゴミハイ(ゴミ拾いハイキング)に変わって畑PJの提案で「落ち葉掻き」を実施、山口会長自ら先頭に立ち奮闘され、結果、沢山の落ち葉が集まりました。集めた落ち葉はいずれ畑にすきこまれ、自然に優しい肥料に成ることでしょう。「瀬上さとやまもりの会」から提供された餅米10Kgは、昼食時にはつき立ての餅と成り、初日の鏡餅を除き餡餅、黄な粉餅、大根のみぞれ餅、いそべ巻き、納豆餅と姿を変え、暖かい豚汁とともに参加者の胃袋に無事収まりました。餅つきは、友の会会員とともにレンジャーの方々も参加、終始にぎやかな雰囲気でした。

餅米の蒸しあげ、豚汁、焼き芋と火を使う作業が多かったのですが、皆様のご協理と協力のお陰で火傷、事故もなく無事にイベントを終了させることが出来ました。

改めて、事務局として御礼申し上げます。

(事務局 片岡 章)

お知らせ・お願い

★環境管理作業の予定

環境管理のため、造園業者さんに委託して3月まで次の作業を行っています。園内の生物に極力影響が出ないように進めていますが、お気づきのことやご要望があれば、レンジャー古南、黒川までご連絡ください。

○危険木除去や緊急車両の通行確保のための伐採・剪定：コナラの道、ミズキの道、霊園口

○横浜市南部に本来自生しない木や竹の伐採：コナラの道・ノギクの広場周辺のモウソウチク・シュロ、モンキチョウの広場のサトザクラ・ハマヒサカキ・シャリンバイ・トウネズミモチ

○移植：霊園口階段ぞい・生態園・ミズキの道ぞい→ピクニック広場（下記）・長倉口トイレ付近（コクサギ）・ミズキの池観察小屋背後（クサギ等）・長倉口（エノキ・ケンボナシ等）・桜林（ガマズミ等）

◇ピクニック広場の水道施設の耐震工事は、3月末にようやく終わります。工事の時に木を伐ったのを補うために、園内の低木類を中心とした樹木約140本を移植していただく予定です。（ムラサキシキブ・キブシ・ヒメコウゾ・ハコネウツギ・クサギ・ヌルデ・ミズキ・クマノミズキ・ヤマグワ等）

◇何かとご不便をおかけしますが、利用者の皆さんの利便性・安全性向上と環境の改善のための作業ですので、ご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



★補修工事の予定

3月までにカシの森保護区内の調査用トレイルの階段の補修を行ないます。

保全管理フォローアップの会



★報告 第5回 1月7日（土） 13:00～16:00 保全管理の勉強会

テーマ「30年にわたる鳥のモニタリング調査データをもとに『森』の管理方針をデザインする」

○参加者 友の会 17名（片岡章さん、関根和彦さん、藤原功さん、張間信子さん、篠原由紀子さん、八田文子さん、上原明子さん、佐々木美雪さん、佐々木彩愛さん、中里幹久さん、岩崎由春さん、渡部克哉さん、落合道夫さん、西山健太郎さん、和田全弘さん、村松古明さん、志釜じゅんこうさん）

横浜市（藤田智さん）、レンジャー（古南幸弘、掛下尚一郎、黒川麻紀野）

○講師：藤田剛さん（東大・助教）

○内容：3部構成で観察の森の野鳥の生息状況について学び、調査データに基づいて特定の鳥類の生息環境を考察する実習を室内と野外で行ないました。

第1部の講義では、開園以来30年間続けてきた「ラインセンサス」という鳥類調査データを分析してわかったことについて、お話を聞きました。30年で鳥の種類数は全体として増えており、数は、種類によって増えたものと減ったものがあり、増えた種類は森林に住む鳥が多く、減った種類は草地に住む鳥が多いという傾向があったということでした。繁殖期で増えたのはコゲラ、ヤマガラ、アオゲラ、ヤブサメ、オオルリ、センダイムシクイ等、越冬期ではヒヨドリやアオジが増えていました。減った鳥の代表は、繁殖期のホオジロやスズメです。



神奈川県全体では減っているのに観察の森では増えている種類としてはオオルリとセンダイムシクイが挙げられ、この2種類はどちらも、大きな森でないと生きてゆけない鳥であることから、観察の森は大きな森を必要とする鳥にとって特に重要な場所ではないかということでした。

第2部は室内作業で、第1部のお話を受けて、参加者の皆さんが手分けしてセンサスのデータを地図にまとめ、その鳥の好む生息環境について推測しました。この作業の対象に選ばれたのはオオルリです。3班に分かれて、2013年から3年分のオオルリの記録位置を1枚の地図にまとめてみました。

第3部はこの地図を見ながら、オオルリが多く記録された場所に行ってみて、オオルリが住みやすい森の環境について、どう守って行ったらよいかも含めて考えてみました。



なお第1部で藤田さんにお話しいただいた内容は、論文として日本野鳥の会の研究報告誌「Strix」に掲載される予定になっています。

★次回予告 3月4日(土) 13:00~15:00 フォローアップの会の今年度のまとめと展望

保全管理フォローアップの会は、この回で今年度は最終回です。皆さんと一緒に検討し、3年間実施してきた桜林の植生改善のための伐採作業も2月でほぼ終了しましたので、これをふり返り、今後の課題を整理したいと思います。環境管理にご興味、ご意見をお持ちの方はどなたでもご参加ください。(保全管理フォローアップの会は、「横浜自然観察の森保全管理計画」をフォローアップするために横浜市の事業として実施しているものです。)

◎資料の準備の都合上、ご出席いただける方は前日までに古南、黒川までご連絡ください。



ホランアソウ

12/5~2/5



ありがとう

- 12/24、1/14 雑木林ファンクラブみなさま ストープ用の薪づくり
- 1/12 野草の調査と保護のみなさま 樹木ウォッチングマップの改訂へのご協力
- 1/18 雑木林ファンクラブのみなさま 展示の木琴のばちの制作・ご提供
- 1/25 宮武正則さん 作品を展示物として貸出のご協力
- 1/29 鳥のくらし発見隊のみなさま センター主催行事へのご協力



横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892 E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/> イラスト：大久保香苗

●新年度会費納入について●

事務局からのお知らせ

新年度会費について、振込用紙を同封しました。金額を確認の上、できるだけ早く郵便局からお振込みいただきますようお願いいたします。

<振込期限(厳守)> 3月15日(水)まで (ボランティア保険を途切れなくかける都合上)

- ・大人会費 2,000円 子ども会費 600円 家族会費 3,500円
(家族会費は同居の小学生以上なら何名でも同額ですが、入会申込が各自必要です)
- ・振込手数料は、各自でご負担ください。
- ・郵便番号・住所・電話番号など訂正のある方は、通信欄に記入をお願いします。

振込先口座番号: 00240-1-59172 横浜自然観察の森友の会

行事スケジュール 2月~4月

- : センター行事
- : 友の会行事
- ★: 共催行事

●友の会 季節行事●

- はじめてのちいさなしぜんかんさつ会
3/26(日)(大雨の場合4/1(土))
午前の部: 10:30~12:00
午後の部: 13:30~15:00
対象: 3才~小学校2年生と保護者 40名
申込: 3/4までに FAX かメールで
→3ページ参照

- 第29回定期総会
4/2(日) 10:00~
場所: 自然観察センター研修室
→1ページ参照

- KFC野鳥・蝶・トンボ定例写真展
4/2~6/4
担当: カワセミファンクラブ

●共催 定例行事●

- ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜
~友の会の活動内容紹介とルールを~
4/16(日) 9:30~14:00 雨天催行
受付: 直接、自然観察センターの研修室へ
対象: どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

発行日 2017年2月19日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

●友の会 定例行事●

- 季節の森を歩こう(園内の自然案内)
~季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら~
3/5(日)・4/2(日)
1回目 11:00~ 2回目 13:00~
受付: 30分前から 自然観察センター前にて
対象: どなたでも
担当: 森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

- みんなでバードウォッチング(野鳥観察)
~のんびり楽しむバードウォッチング~
3/12(日)・4/9(日)
9:00~13:00 少雨決行
受付: 自然観察センター前にて 対象: どなたでも
担当: 鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

- 森の絵本を楽しもう
~簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ~
3/15(水)・4/19(水)
10:30~12:00 絵本製作
受付: ボランティアルーム 対象: どなたでも
担当: 森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

- 畑と作物をつくろう
~生き物にあふれた畑を目指して~
3/18(土)・4/15(土)
10:00~12:00 雨天中止
受付: 自然観察センター前にて 対象: どなたでも
担当: 畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

- 自然と遊ぼう(園内の自然案内)
~ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい~
3/25(土)・4/22(土)
1回目 13:00~ 2回目 14:00~
受付: 30分前から 自然観察センター前にて
対象: 子どもから大人までどなたでも
担当: 自然と遊ぼう 毎月第4土曜